夕刊
四月二十二日發行
定價 一ヶ月 金六十五錢 郵税 金五錢
發行所 磐城新聞合資會社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇八五六五番

宗教と文藝

上

清谷生

偉人を語る場合には、その偉人の對象となる人物と比較してみる方法が、あらゆる方面に亘つて行はれてゐるが、傳教大師でも、傳教大師の偉業なり性格なりを知らんとする場合、弘法大師をその對立として選ぶのである。兩者は平安初期の同時代に日本佛教の創始者として、活躍されたその行歷が、最も比較し易い、そしてこの比較なしには、傳教大師でも弘法大師でも遍徧に研究することは不可能であるらしく、私なども兩大師の宗教的立場が根本的に異つてゐるところに、非常な面白さを感じるのである

傳教大師のご人格なり、その學的態度及び、その主張された宗教と、弘法大師のそれとは、兩極的な相違があつて、傳教大師の方を一言にして言ふならばその學は深淵廣大であると共に性格は純粋にして高邁、妥協的な鬪さは微塵もない。そこに清らかな超脱の宗教が燦然として光輝を放つてゐるのであるし、これに比べて弘法大師の方は、超人であると共に世俗を知り、複雑にして多角的、行くとして可ならざるなしの、妥協調和の人である。一口にいへば綜合的といへる

宗教的人格なるものは、この純粋と複雑と何れが尊いものであるか、宗教が學であると共に行でもあるならば、その人格は純粋であらねばならぬ。妥協も調和も、こゝでは條件にならないのである。純一無雜に行じて行けばよいのである

今日の訓へ

磐名　山人

『人の惡いのは磐城の平、それについて小名濱』といふ俚諺があるが、一体これは何を意味したものであらうか、然し、ヘーゲルは『自己と反對なもの、矛盾するもの、中に、自己を認識する』といはれてゐる、味ふべきである

寄贈書目

△法律新聞四月十五日號（一部税共十錢五厘、東京市日本橋區四丁目五、五共社）

4月23日

△わが國最初の蒸氣船衝突（慶應三）△本居宣長『歷朝詔詞解』を完成す（寛政一三）△伏見の寺田屋騷動（文久二）△澤柳博士生る（慶應元）

講

賀鈴木[illegible]三開業　[illegible]務平

翼然崇開[illegible]
桃李春風[illegible]
只合門前[illegible]
有才有學[illegible]

磐城三体明神山放牧

伊藤寒山子

くまいちご駒追ひのぼる徑に熟れ
あづまぎく馬柵の盡きたる嶺にみだれ
あづまぎく放ちたる駒いななけり
あづまぎく駒かけゆくよ雲に觸れ
いちご喰ふ駒放ち來しさびしさに

關西旅行の若い人に

哲郎生

二

日本人はロマ　スを持つになすぎるとは異相を見拔く異門人の正評である。ゲイシヤ、サクラ、フジヤマと觀光する彼等は日本が餘りに夢多く樂しげにも見えるので、實用は餘りにこの見方を否定してゐるのが知れよう。唯物的に強く支配されて來た外人に羨まれるこのロマン味が、現代の日本では全く失はれんとしてゐる。成程日日の生活は人々から斯かる餘裕を奪つてゐるのは確かである。併し人生とはそうした緊張のみで固つた潤ひの無いものであつてはならない

人間の一つの特徴は情緒である。藝術の世界は此處に築ける、夢のある源に遡歩があり人生の豊富さがある。神はこの意味で個々の人間に青春の日を與へてゐるのではないか

青春の日はロマンテックな色彩が十二分に施されてい、筈だ。個々のエピソードの終焉が人生の終りだと觀じてもいゝ筈だ。かくて青春の日が過ぎ、否應なしにキチキチした人生苦に壓される日になつてこそ、その過去の豊富さの中に材料組み上げられて[illegible]ズテイクな而も美しい人生が始めらるべきであらう。眞のリアリストはその反面眞のロマンテストでなければならない

日日の過程に壓されて机の上に過ごす若き諸子が、眞の意義を感ずる日、それは決してベルで始まりベルで終る學窓の中には無いのだが、その日に悟る所は豊裕な過去であり希み多き將來の夢でなければならない

妖刀流轉（ようとうるてん）

(69)　邑井貞吉演　佐々木今朝吉畫

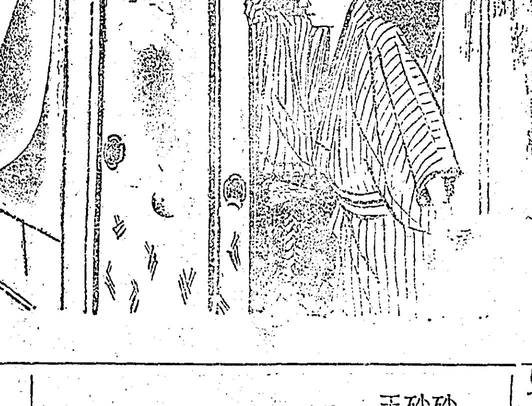
一時の隱家（二）

藤作はそれを聞くと

藤『そうよなア、成程その隱れ場所だが、何うだらう御窮屈でも、床下へ蓙でも敷いてゐて貰ふかなア』

といふとお紋が鼻で笑つて

紋『そんなチヨロッカな事で何うなるものかネ、疊を上げて床下へ隱れるなんざア、素人考へといふものだよ、役人の手でふみ込んで居ないと判つても屋探しとなれば、物置から縁の下まで、捜し立てるのは極つてゐる、隅から隅まで探されても、大丈夫といふ隱れ場所が、無い事も無いのだが、そりやアお前さんにも氣がつくまいねえ』



藤『えつ、隅から隅まで探されても大丈夫といふ隱れ場所、そんな所があるかなあ』

紋『それが有るから可笑しいのさ、まつともそれも役人次第だが、マア大ていの者ならそこ迄は氣もつくまいよ』

藤『はてな、それは全體どこだらう』

藤作は變な顔をしてゐるが、お紋はにや／＼笑つてゐるばかり、大島傳五郎ちろりと夫婦の顔色を見たが

傳『それに就ては自分もいささか工風した事が御座います、隱まつて下される事さへ御承知下さらば、あとは拙者に任せて下さい、口が堅くさへして下さらば決して御迷惑はかけませぬ故その邊は御安心を願ひたい、然し大分夜も更けましたが、まだ／＼夜あけには間も御座らう、もう拙者も參るまいから心を安んじてお寢みなされ、拙者ももう一寢入御免蒙る』

一禮して次の間へ戻つたが、藤作は何となく落つかないが、おもんは遠慮もなく大欠伸をして夫婦は又床へ入つた

とろ／＼としたかと思ふともう夜のあけた。然し昨夜が遲いから藤作もお紋もなかなか起きない、よう／＼目をさましたのが只今の十時頃、外は曉方から降り出した秋雨が、シト／＼と降つて居ります

藤作は起されてお紋、眠々に起きて來たが、雨降り[illegible]日に朝から暗くて陰氣なもの見ると傳五郎の姿が見へません、荷物も風呂敷も十間にあつた履物も見えない昨夜貸してやつた薄い蒲團までなくなつてゐる、ハテナ何處へ行つた事かと夫婦が怪しんでゐると

傳『御主人も御内儀も、お目ざめになつたかの』

どこやらで傳五郎の聲がする、二度びつくりしてキヨロ／＼見廻したが、矢張り姿が見へません、聲はすれども姿は見へず、ほんにお前は何とやらといふ位のもの、夫婦が怪訝な顔をしてゐると

傳『あつはゝゝ』

といふ笑ひ聲

傳『こゝで御座る／＼』

云つたかと思ふと暫らくして押入の戸がすつとあき中から立出でた傳五郎

傳『お早う御座る』

藤『おや、それでは戸棚の中へお隱れなすつたので』

傳『イヤ／＼、こゝはほんの出入口、戸棚などへ隱れて居つてはすぐと他人に見つかりますが、先づこれを御覽下さい』

指さされて藤作もお紋も押入の中を覗いて見ると戸棚の天井板が一枚外れてゐる

傳『お判りになりましたかこゝから拙者が出入りをいたす、即ち住居は天井裏、くもの巣だらけに塵も積り眞つ暗なには恐いるが、がらんとした屋根裏に鼠と同居も氣が變つて結句氣樂な佗住居、住めば都で御座らうよ』

傳五郎は澄ましてゐる

株ハ一株ヨリ、債券ハ一枚カラ賣買致シマス。
友部株式店
平町三丁目
電話一七七番

鮫川砂利採取及販賣
砂利採取場
砂利…川部村沼部
砂…山田村法田
玉石…植田鮫川橋下

貨物自動車運搬業、有價證券、株式債券賣買及仲介、商品依托販賣、千代田生命、千代田火災保險代理店
常磐線植田町
植田物產株式會社
取締役 山崎登
電話三一番

各種貨物一般及重量機械類運搬取扱
石城郡錦村中田
植田物產錦出張所
電話（植田）一三五番

產科 婦人科 花柳病科
午前宅診 午後往診 入院應需
平町田町（元合津醫院跡）
井坂醫院
電話五五九番

外科、內臟外科 エッキス光線科 新設 產婦人科
院長 安齊徹
醫學士 黑澤廣
平町田町
入院隨意
安齊醫院
電話四七五番

入院隨意（自炊の便あり）
外科專門 X光線科
平南町
病室完備
上田醫院
（電話一二九）

時計の値上りは御存の筈
アゝそれなのにく
安いのはく
早い仕入と現金買ひだから
あたりまいでしよう。
○御入學御進級記念學生向實用腕時計をぜひ大谷で
○特に學生諸君に限り腕時計御買上げ一個ごとに十四金ペン萬年筆一本サービス、其上御値段御安く差上げます。
三丁目
大谷時計店
電話十九番

メートル御使用家の福音
二割明るく二割も徳な
新マツダランプを
お奨め致します！。
目下應募券付賣出し中洩れなく粗景呈上
毎月一日十五日 マツダランプ割引デー
當日はマツダ眞空管も割引致します
日東商會
電話四二八

國產ニッポン冷凍魚
日本水產特約
平製氷會社
電二二八・三二六番
鯛 エビ 白魚 ワカサギ
甘鯛 マナ鰹 帆立貝 ウニ貝燒
ヒノマル凍魚
四丁目 ト印 魚問屋
電五二八番
配達ハ一尾一箱ヨリ迅速ニ致マス。

諸機械製作販賣
機械切各種齒車製作
合名會社 田邊製作所
平白銀町（驛前通）
電話二九四番

產科 婦人科 外科 藥局
院長 木村寅次郎
醫學博士 內木宗八
藥劑師 大岩俊雄
入院隨意 病室完備
平町新川町十九番地
木村病院
電話一六四番

◎日本石油株式會社特約店
ライジングサン石油株式會社特約店
[illegible]商店平支店
電話六番
本店 水戶縣下館町
茨城縣土浦町
（電話五五・三三九番）
營業種目
石油、揮發油、輕油、重油、マシン油、モビール油、機械油類、植物油、胡麻油、種油、コールタール、カーバイト、石炭、コークス、ストーブ
支店所在地
常磐線關本驛前（電話六五三）
常磐線[illegible]驛前（電話八二四）
久慈濱支店（電話四八）
小名濱支店（電話二三七番）
海上給油 大津、平潟
及油槽所 江名濱

東京上野驛前
下谷郵便局横通角
旅館 大手館
電話下谷(83)六七七番
私は平町出身ですから特に郷里の皆様方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄

（入院隨時）
平町南町五二
產科 婦人科 根本醫院
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番

ほねつぎ
平町公園下
桑原柔道整骨院
電話六七四
神經痛ニ リウマチスニ オレンヂパスタ

洋服裁縫徒弟三名
至急入用
技術親切に教授ス
平町南町七十一
高野洋服店
電四八五

診療科目
一、齒科一般
保存科、補綴科、繼續架工科
齒列矯正科、小兒齒科、齒槽膿漏科
一、口腔外科
一、レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日本齒科醫學士 西川誠
平町田町（松月堂向ヒ）（電話五〇九番）
（見習看護婦募集）

笑ふもあと一週間 政戰愈よゴールへ 火を吐く言論、雪崩の文書

泣くも

火を吐く言論！雪崩れの文書——投票の日はいよ〳〵なか一週間だ、政戰は日一日近づく審判の日を前にして一層白熱化し、けふは東、あすは西、六候補入り亂れての最後の戰ひは續けられて行くのだ、縣から平署に入り込んだ應援隊は何れもゲートルばきの物々しいいでたちで活躍してゐる、又これと共に肅正陣も益々鞏固な結束を以て『理想選擧』の趣旨徹底に聲をカラしてゐる、第三區六候補の選擧公報が各有權者の手許に送られるのは明二十三日邊りであらう——泣くも笑ふもあと僅かに一週間

大旗を先頭に あす肅正行進！

縣社々前では祈願祭

あすは選肅强調日——平町では既報の如くこの日午前九時から縣社子鍬倉神社々前で祈願祭を執行後三小學校尋三以上の兒童軍に各種團体が加はり標語入りの大旆を先頭にして町內を『肅正行進』で彩るが若し雨天の際は一、二日延期する

尙町當局では肅正の一方策として投票日の前日(二十九日)には小學兒童、靑年學校生徒、男女靑年團員に神棚で飾られた投票所を參觀せしめる事となつた

ハリキリ肅正陣

ポスター、印刷物配布

郡農會でも

總選擧を控えて今や肅正陣は大童の活動を續けて居る祈願祭、立看板等でこれが趣旨の徹底に努めてゐる平町では更に左記チラシを全有權者に配布する

有權者各位に告ぐ
○四月三十日に衆議院議員の總選擧が行はれます
○明るい政治 實現の爲に買收や情實を排け正しい選擧をしませう
○正しき選擧 は國民報國至情の發露であります
○皆さん御國の爲に一人ものこらず淸き正しき一票を必ず投じませう

又郡農會でもこれと步調を合せ『農會の主張、總選擧に臨んで』なる印刷物と『農村の盛衰此の一票』と染め拔いたポスターを郡下各町村農會に配布する事となつた

增田檢事正

けふ選擧視察

本縣增田檢事正は選擧視察のため今二十二日午前十時八分着の磐越線で來平、直に平署に入り種々聽取、視察の上午後富岡方面へ向つた

平町もその候補地

保健所設置案決る

今回の解散議會で保險所設置案は幸ひ通過し全國各廳縣共本年度に各一ヶ所保險署を設置する事になり、去る十五日これに關し內務省において全國衞生課長會議が開かれ打合せる所あつたが本縣では福島、郡山、若松、平の四都市中に一ケ所開設する事に決し衞生課において目下立案中である、同所に要する經費の三分の一は國庫補助、三分の二は縣補助による筈で敷地は地元に寄附を求める事になるやうである、保險所で行ふ事業は左の如くで治療は除かれてゐる

一、衞生思想の涵養
二、榮養の改善及飮食物の衞生に關する事項
三、衣服、住宅その他の環境に關する事項
四、姙產婦及乳幼時の衞生に關する事項
五、疾病の豫防に關する事項
六、その他健康の增進に關する事項

平產看校出身合格者

本縣今年度第一回產婆學說試驗合格者は昨二十一日發表されたが、うち平町南町平產看校出身者左の如し

愛川カヨ　梅田マス　新妻ヨシ　靑木キヨ　新妻輝子　若松カメ　渡邊富子　小針フミヨ　佐藤カツ　高萩ミツ　小林ハツヨ　寒河江チヨ子　門馬サツエ　佐藤ウタ　加藤イク　菅野アキ　佐藤潔子

又同校出身で茨城縣看護婦試驗の合格者は

[illegible]　渡部セキ　渡邊キヨ子　遠藤茂子　大越アイ子　鈴木春子　新妻ヨシ子

矢野道子　根本クニ子　高橋キミ　菜谷ミサヨ　岩倉昌子　志摩トヨ　島ハナ子　小針フミヨ　愛川カヨ子　新妻輝子　高

滿洲の兵隊さんへ 心からの慰問袋

聯合女子青年の活躍

本縣聯合女子靑年團では去る十八日平第三小學校に開かれた總會席上決議により吾等が鄕土部隊たる佐伯、岡村兩部隊に激勵電報を發したがこれに對し二十一日佐伯部隊長から『御懇情を謝す云々』の返電があつた

尙同總會では在滿兵慰問のため三ケ月に一回宛慰問袋を各種在滿兵後援團体と協力して贈る事も同時に決議第一回分は來る六月十五日四千袋を國防、愛國兩婦人會と協同で贈る事となつた

種播き始まる

磐崎部落がトップ

蛙が鳴く、麥がのびる——そろ〳〵お百姓の忙しい時節に入つて早い處ではもう苗代への種播きを終わた處もある、郡下のそれは兩三日中磐崎部落を皮切りに一齊に行はれるので郡農會では目下その指導に忙しいが一般に山間方部は早いと云ふ

前後三日の山神祭で 送炭量に當然の赤字

一時的の現象で近く正常復歸か

有力坑一部の操業支障裡に在つて尙ほ最大限の生產能率を發揮し前旬中稍々正常復歸の數字を示した常磐炭界も、去る十一日以降二十日迄の分は年一回の解放日たる前後三日間の山神祭が介在した爲、其間必然の減少を示した、即ち同期間に於ける發送統計によると

營業用三、五九二車四五、二六六廸　省用九五三車一二、六八四廸　合計四、五四五車五七、九五〇廸

で前年同期に比し

(減差)　營業用一、一八五車一三、九六四廸　省用七四二車九、五六八廸　合計一、九二七車二三、五三二廸

尙ほ前年同期と稍々同程度であつた前旬來の分を通算すると二千百八車二萬三千六百四廸、即ち中旬分丈けの減差位の減少となつてゐる

お米はグン〳〵騰る

きのふの共販廿錢高

お米はグン〳〵騰る——きのふ行つた石城販聯の俵米定期共販は出荷千二百八十八俵で、相場は勿來倉庫の十二圓五十一錢を最高に前回に比し平均二十錢の高値を示した

平一二圓三〇錢　小川一二、二八　飯野一二、三一　夏井一二、三〇　高久一二、三五　草野一二、二八　神谷一二、二八　大野一二、三二　同二號一二、三一　平窪一二、三五　渡邊一二、三一　勿來一二、五一

選擧運動の心得

○一般民の選擧運動に就いて

選擧人は、何れの候補者が賴むに足る人物なりやを知るに努めて、選擧の當日は自己の良心に基いた正しき判斷に依り、自己の貴き一票を投ずべきは勿論、進んでは自己の崇敬する人物の爲に、應援運動を爲すの擧に出で[illegible]位の熱意を以て選擧に處してこそ、選擧の理想を達成することが出來るのであります、自己の信賴するに足ると思ふ人物があつたら、應援運動を爲して、其の人の當選を期すべきであります、其の人に立候補の勸誘をして推薦屆出をすることも出來ます、斯くしてこそ、當選者の顏觸れには信賴するに足る人物が揃ひ、引いては議會を良くする事が出來るのであります

○法定選擧運動者以外の者所謂第三者が、應援運動を爲し得るの途は、演說又は推薦狀に依る運動であります、選擧運動は、立候補屆出前の人の爲には出來ないのであります、立候補屆出後と雖も、第三者は、演說又は推薦狀に依る方法以外の方法で選擧運動を爲すことは出來ません、これ等の制限を受けず、尙進んで其の候補者の爲種々の選擧運動をしようと思ふならば、選擧委員と爲れば宜いのであります

○演說による選擧運動をするには、或は候補者又は法定運動者の開催した演說會に辯士として出演することが出來ます、又獨立に演說會を開催することも出來ます、獨立演說會を開催した場合には、演說會を告知する爲三十枚のポスターを使用することが出來ます、大さ、色合、記載事項及揭載場所の制限並に警察署の檢印を要するのであります

獨立演說會を開催する場合に於ては、司會者及出演辯士が交代で種々演說會の世話をして勞務提供をしても差支へがありませんが、特別に勞務者を雇上げて使用することは出來ません、是非勞務者が必要ならば選擧事務長の選任した法定勞務者を使用すれば宜しいので

○尤も寄席、劇場等を借りた場合に、その施設として附屬してゐる下足番を使用するとか、ビラの頒布等を業とする者に請負はして投込ませると云ふことは差支へがありませんし、又司會者及出演辯士と同席する親族、家族又は婢僕が機續的でなく單に一時的に瑣事の用を辯ずることは差支へがありません

（つゞく）

片倉製糸の 模範從業員

縣組合から表彰

本縣並に縣蠶糸業組合の模範從業員表彰式は二十三日福島市公會堂、二十五日郡山市商工會議室で擧行されるが縣製糸業組合から表彰を受ける片倉磐城製糸株式會社の優良者左の如し

江尻勇造　大谷堅平　山口まき　渡邊さわ子　高木とみ子　山村いし　中村まさよ　根本みさは　矢內花子　大平みつよ

松ケ岡から

きのふも雨、けふも雨、それに風さへ加はつたので色あせた花は一とたまりもなく散りしきつてゐる、見事な花吹雪です、未だ春を惜むそつち、こつちからの團体に一と儲けを目論んでゐた園內の賣店子もどんよりとした空合を見つめて憂欝な顏——演藝の舞台もションボリと濡れてゐます、けふ、あす、あさつて迄最後の三日間を毎日午後一時からやる筈だつたがこの分ではあと何回あの艶麗な舞ひ姿が見られるものかホンに無情なけふの雨である、花を彩つた雪洞や提灯も恐らく明後日迄——殘るものはたゞ歡樂後の哀愁だけです

（池の蛙生）

理髪組合總會

平署管內理髪組合では今二十二日午後一時から相馬中村第二小學校に開かれた第三郡理髪組合聯合會に左記議案を提出、同聯合會は庶務、會計報告、役員の互選を行つた

一、理髪料金値上
二、指定店舖に關する件

三小學校定期種痘

町內三小學校の今年度定期種痘は左記日割で行はれる

第三校四月二十八日(檢診五月三日)第一校五月四日(同九日)第二校同月五日(同十日)

。。。。。。

組頭大會延期　來る十四五の兩日白河町で行はれる筈であつた本縣下消防組頭大會は都合で十五、六の兩日に延期された

慘殺事件

『身許さへ判れば解決は容易だ』

平署躍起の捜査進む

既報、豐間沖合に浮んだ義足の慘殺死体事件は引續き應援の香內縣刑事課刑事部長と共に平署刑事連が現場に止まり捜査の手を延ばす一方昨二十一日はHKから放送して事件解決の鍵とも云ふべき被害者の身許調査に躍起となつてゐる

昨二十一日午後に至つて去る三日夜双葉郡富岡町の某木賃宿に投宿した石川縣高濱町竹細工商坂本正太郎(五六)の風体が被害者と合致してゐる點があるらしい事が判り目下照會中だがこれとて未だ判然とはしてゐない

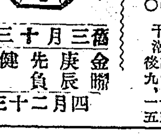
齋藤司法主任も『まだ判らないのだから近くのものではないだらう、身許さへ判れば急速解決に至らだらうが……』とハリ切つてゐる

天氣豫報

小名濱測候所發表

今晚は北東の風曇後晴
明日は北東の風晴後曇

二十三日（小名濱測候所發表）
滿潮　前二、三〇　後三、二〇
干潮　前九、一五　後九、一五

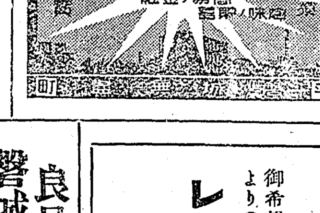


舊暦三月十三日　金曜　庚辰　先負　健　鬼宿　四月二十三日

諸判定總務　東京市本鄕區湯島四丁目　高島易斷總本部　神誠舘

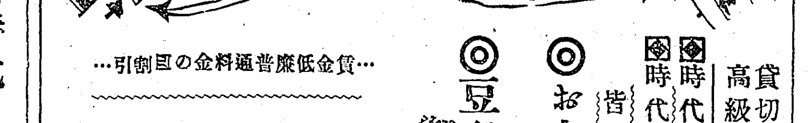
▲一白　意外の事件に際會して迷惑する事大なる日▲二黑　誠實を失はざれば過ち無し轉宅旅行等は凶▲三碧　辛棒の太る程貧乏は細るべし暫らくの忍耐▲四綠　刻苦精勵の甲斐は空しからず漸次進展の兆▲五黃　物事は七分にて滿足し後の三分は遺すが勝▲六白　願望注意いの如く行はる、盛運日文書注い▲七赤　氣力わうせいに活動の自由な爲諸事達成の吉日▲八白　手順を違へずしん重の態度にて進めば效あり▲九紫　名利並び行はれ榮冠は目前に在り奮ひ起て

廣告



賢職新藥
ネオネプロン
一・五〇
醫師、藥劑師[illegible]る超特効劑
平町代理店
山野邊

毛糸の御洗濯
○極く手輕に出來ます
○特許モノゲン液に十分間漬けて輕く押し洗ひするだけで結構です
○費用は大人のセーター一着三錢で間に合ひます
○毛糸編物、毛織物、人絹
御洗濯には
安心して使へるモノゲンを御スヽメ申上ます
モノゲン定價　大一圓二十錢　小三十五錢
平町田町銀座
ハシモトヤ糸店
電　十四番



…賃金低廉普通料金の三割引…
(本)平和タクシー
豆タク部
植田台町
電話六十四番

貸切自動車
高級流線型
◎時代の要求!!!
◎時代の寵兒!!!
皆樣の足
迅速 親切 叮嚀
◎お玄關から お玄關への……
◎豆タクを是非 御利用下さい

新時代の職業
コック見習募集
小學卒業生十六歲ヨリ十八歲迄ノ方優遇ス
御希望の方は至急御申込を乞ふ(可成親權者よりの申込みを歡迎)
レストラン サロン
平・田町・電三五二

良品廉賣に勝る商略なし
磐城セメント特約代理店
和洋銅物 金物問屋
(久) 釜屋商店
磐城國平町五丁目
電話九番 九九番
振替貯金口座 東京一〇九五六番

確實敏捷は(久)の生命なり